【院外情報誌】

なでしこ通信

第１６１号（令和２年９月号）

発行：鳥取県済生会境港総合病院広報委員会
発行責任者：病院長　村脇　義和
所在地　：〒684-8555 境港市米川町44番地
電話番号：0859-42-3161（代表）
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.sakaiminato-saiseikai.jp

院是（当院の基本理念）

病む人に光（あかり）をともすより良い医療をめざして

さりげない気くばりと和顔愛語（わげんあいご）で心暖まる病院を

築きあげよう

当院の基本方針

私たちは

1．済生の精神に基づき、地域の保健・医療・福祉を支えます。
2．患者さまや家族の皆さまに暖かく安全で良質な医療を提供します。
3．地域中核病院として救急及び先進医療の提供に努めます。
4．地域とのつながりを大切にし、他の医療機関・福祉施設との連携に努めます。
5．情報の開示・説明により信頼される医療を目指します。

画像（通信端末）を使って面会できるようになりました

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、入院・入所患者様への面会を全面禁止としています。荷物を持ってこられても、会えずに帰るご家族を見て、大変心苦しく思っております。長期化する面会制限の中で、感染拡大に配慮しつつ、少しでも患者様とご家族様が繋がれるようなサービスはないかと考え、画像を使っての面会を開始しました。

【オンライン面会の流れ】

①面会日の予約をする
お荷物受け渡し時に各部署で予約する
お電話で予約する（各部署にお繋ぎします）　TEL 0859-42-3161（代表）
部署名と「オンライン面会について」とお伝えください

面会時間：15時～16時　1回10分以内

月曜日	3東病棟	木曜日	介護医療院
水曜日	4病棟	金曜日	2西病棟

※タイミングにより面会が満了している場合がございます。その際は別の候補日もご検討ください。

②予約日にご来院いただく
病院内ATM横面談室で、タブレット端末iPadを使用した面会となります。1回の面会時間は10分です。状況（急な容態変化等）によっては、当日面会できない場合もあります。予めご了承ください。

消防訓練を実施しました

令和2年7月30日（木）、令和2年度第1回消防訓練を実施しました。
今回の訓練は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、責任者のみで避難経路の確認と通報装置の操作確認を行いました。
夜間に2階西病棟洗濯室から出火した想定で、消火器の使用方法、通報装置の操作確認、防火扉の操作方法を新人看護師に体験してもらいました。
毎年9月1日は防災の日となり、大震災や近年多発する水害など、不測の災害に備える大切さが指摘されています。今回の訓練を通し、消火器具の適切な使い方と素早い避難が行えるよう、不測の事態に備えます。

中学生・高校生看護師体験

今年は新型コロナウイルス感染症対策により、例年のような病棟、手術室での看護体験はできないため講義形式で実施しました。西部だけでなく県内の中学・高等学校より64名の申込みがあり、体験日の2週間前からご家族共に県外への外出や県外者との接触がないこと、体温、胸部症状他毎日健康チェックをしていただき、すべて該当しないことを確認したうえで参加していただきました。

看護職資格取得までのコース（進路）、資格の種類、モデル人形や動画での看護技術演習、日本看護協会ホームページで紹介している、様々な場所で働く看護師の仕事を紹介「－キラリ看護の仕事－」、また毎年看護協会が製作している特別番組があり2019年度は、済生会横浜市東部病院、鳥取市のウェルフェア渡辺病院、京都府綾部市立病院で収録しテレビで放映された「いのちを守る看護師たち ～24時間眠らない病院を支える看護師たち～」を、そして当院の看護学生実習、看護体験、新人研修、各部署の紹介などをまとめたスライドショーを視聴していただき、鳥取県や当院の奨学金制度について説明しました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い予定日全てを実施できなかったのが非常に残念でしたが、ご家族の皆様にはご協力いただきありがとうございました。また各学校の先生方には健康チェック表他、資料配布等大変お世話になりました。

この場を借りてお礼申し上げます。

副看護部長　山本 博子

参加者の感想

- 将来医療に携わる仕事に就きたいと思っていたので、今日の看護体験を通して改めて看護師という職業に魅力を感じました。看護職の中でも病院だけでなく様々な現場や分野で働く姿を見て私もこのようになりたいと思いました。今回は去年とは違ったことが聞けて良かったです。
- 看護師だけでなくフライトナースや助産師にも興味を持っています。それらについても実際に仕事をしている人の動画を見ることができ、どうやったらその仕事に就けるかなども知れていい機会だったと思いました。患者さんの排泄など一つをとってみても専門の人がいたり研修があったりと、たくさんの勉強で知識を積んでいることがわかりました。また夜勤については患者さんのケアだけでなく働く人のケア、サポートをしあって働いていることがわかりました。
- 看護師さんが「疲労などよりもやりがいの方が大きい。」と言っていたのがとても印象に残りました。「見ていた患者さんが退院される時、この人のケアをしていて良かったなと思える。」と仰っていたので人と関わることができる看護師の仕事はすごいと思いました。笑顔を直接自分の目で見られる仕事は素敵だと思いました。これを機に、看護の道を目指してみようと思います。
- 看護師になりたいと思っているけど、たくさんの不安があって、その一つに夜勤が怖いという不安がありましたが、夜勤の様子を実際に見て、夜勤があるから患者さんは24時間体制で看護され、変化などがすぐにわかるし、心強いと思ったので夜勤の大切さがわかりました。
- 体の負担や勤務時間の事を考えて構成されていて働きやすいと思ったし、何よりもとてもやりがいのある仕事ということを感じました。
- 看護師になりたいという意志が強くなったので、もっと勉強を頑張ろうと思いました。
- 医療の現場に対する関心や興味がさらに高まりました。大変なことはたくさんあると思うけど、仕事のやりがいや達成感はとても大きいと思うので、これから大変なことでも成しとげたいと思いました。
- 今回、この大変な時期にこんな大切な時間、経験を準備してくださって本当にありがとうございました。今、コロナで大変でしょうが、体に気をつけてこれからも頑張ってください。

当院の医療・福祉相談について

当院では、ソーシャルワーカー（社会福祉士）が医療、保健、健康などさまざまな相談に応じています。秘密は守ります。

＊無料低額診療事業として医療費の相談にのっています。

場所・電話:　地域医療連携室　0859-42-5803、42-5805　　時間：　月～金曜日　８時30分～17時15分